

In brief

The latest news in financial reporting

pwc

No. US2015-40
December 7, 2015

要点

FASBは、公正価値開示の要求事項の変更を提案しました。これは提案されている開示フレームワークと整合させることを目的としたものです。利害関係者は、本提案および公正価値開示の有用性を改善させると考えるその他の変更に関して、FASBにコメントを提出することができます。

公正価値開示 – FASBが改善を提案

最新の動向

米国財務会計基準審議会 (FASB) は、2015年12月3日、開示の有用性を改善するために公正価値開示の要求事項の修正を提案しました。公正価値ガイダンスの変更案は、FASBが2014年3月に提案した開示フレームワークの最初のテストになります。またFASBは、年金、法人所得税、棚卸資産および期中報告を含むその他の領域の開示を検討することにより、提案されているフレームワークのテストも行っています。PwCは、FASBが提案されている開示フレームワークに関する再審議において、公正価値開示の修正案について受け取ったフィードバックを検討するものと考えます。

公正価値開示に関するガイダンス案は、修正案を決定するためにFASBがどのように開示フレームワークを適用したかを詳しく示した独立文書として公表されました。FASBは、提案されている開示フレームワークを公正価値開示にどのように適用したか、および、この領域における開示の有用性を改善するために公正価値開示にその他の修正を行うべきかの両方について意見を求めています。

公正価値の開示の変更案

現行の公正価値開示の要求事項の修正案には、追加および修正、また一定の場合における特定の開示要求の削除が含まれています。一般的に、FASBは、公正価値開示の要求事項の目的、および開示は重要性がある場合にのみ要求されることを明確化する具体的な文言の追加を提案しています。さらに、特定の規定に対する主な修正には以下が含まれます。

- 定性的な感応度情報の開示を求める既存の要求事項は、報告日における測定の不確実性を把握することを意図したものであることの明確化
- 以下の開示要求の追加
 - 報告期間の末日時点でなおも保有される公正価値で測定されたすべての項目について、当期のその他の包括利益または純利益に含まれる未実現損益の変動
 - レベル3の公正価値測定における重大な観察可能でないインプットの加重平均および範囲、ならびにインプットの開発で考慮された期間(該当する場合)
- 投資先が原資産の流動化を行う期間の開示、および純資産価値を計算する特定の企業に対する投資について換金制限が解除される期間の開示を、投資先が報告企業に換金期間を伝達している、または換金期間を一般に公表している場合にのみ要求するように修正
- 以下の開示の削除
 - 公正価値ヒエラルキーのレベル1とレベル2との間の振替の金額と理由、およびそうした振替の時期に関する方針
 - レベル3の公正価値測定に関する評価方針および評価手順

提案されているガイダンスには、FASBの非公開企業意思決定フレームワークに基づく非公開企業(すなわち、FASBの公開企業の定義を満たさない企業)に適用される追加の修正が含まれています。FASBは、コメント回答者に対して、非営利事業体および従業員給付制度などのその他の企業が、同様に開示の要求事項を修正すべきであったかについて意見を求めています。

提案されている経過措置および発効日

上記の開示追加案は、本修正を適用した期間にのみ要求されることになります。その他のすべての開示修正案は、表示されているすべての期間に遡及適用されることになります。

FASBは、コメントレターによるフィードバックを検討後に発効日を決定する予定です。

なぜ重要か

公正価値測定を行うすべての報告企業(すべての業種の公開・非公開企業)は、開示要求事項に対して提案されている修正の影響を受けることになります。経営者は、開示の修正について、投資者およびアナリストに情報提供することを検討すべきでしょう。

次のステップ

修正案に対するコメント期限は、2016年2月29日です。PwCは、FASBがより広範な開示フレームワークプロジェクトの一環としてこれらの修正案を再審議するとみています。FASBは、本提案に対するコメント、提案されている開示フレームワークおよびその他の領域(年金、法人所得税、棚卸資産および期中報告)に対するフィードバックが提出された後に検討することになります。年金の開示に関する修正案は、まもなく公表される見込みです。